

広報

# ながす

□ 発行 長洲町  
□ 編集 広聴室

No. 84

S. 49. 3. 15

— きょうの人口 —

2月末日現在

◆人口 16,502 (+60)

{ 男 8,134 (+33)

{ 女 8,368 (+27)

◆世帯数 4,175 (+29)

( ) 内は1月末比

## 春の使者

人気を呼んだ植木市(於四王子宮)



❀ 議会だより ❀

長洲町第二回臨時議  
 会は三月一日に招集さ  
 れ、中逸町長の挨拶の  
 あと、署名議員を指  
 名、続いて会期を一日  
 ▼長洲町海岸線道路改  
 良工事の請負契約の締  
 結について(可決)  
 ▼有明消防組合規約の  
 一部改正について(可  
 決)

長洲町海岸線道路改良工事の  
 請負契約の締結など

間と決定、ただちに本  
 会議にはいった。  
 提出案件四件その結  
 果は次のとおりであ  
 る。

第2回臨時議会

町ぐるみで教育を

教育長 片山秀雄

任 務  
 就 挨

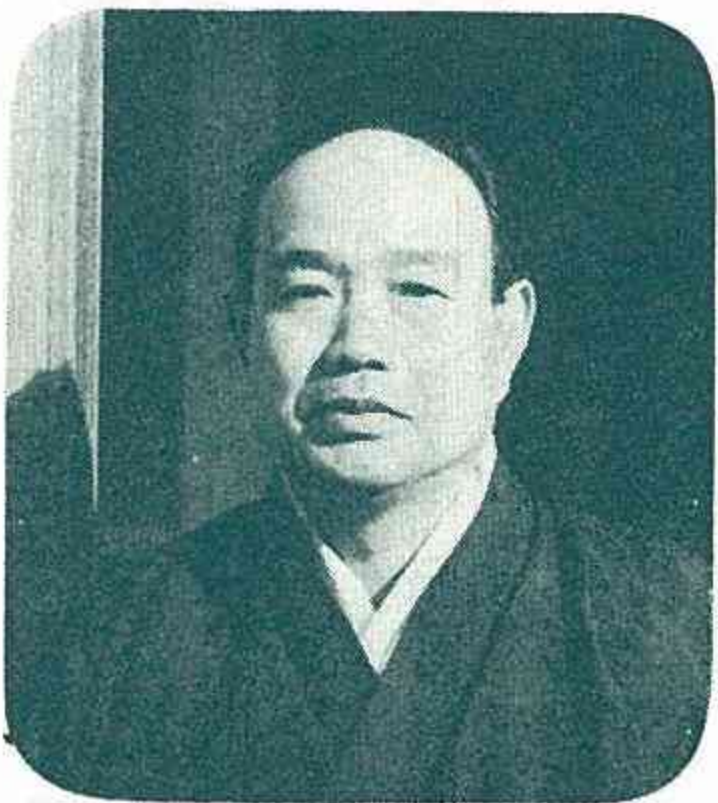
去る二月十五日 不肖私  
 町の教育委員に任命され、つい  
 で委員会で教育長の職務を行う  
 ことになりました。  
 今日、教育問題につきまして



は論評も多く、教育内容の高度  
 化に伴い教育施設や機器の近代  
 化を迫られているときであり、  
 特に長洲町では急速な都市化に  
 対応するための教育諸条件の整  
 備が急がねばならず、物的条  
 件と人的環境の調和によって教  
 育効果をあげるための努力をす  
 ることが教育委員会の課題であ  
 ると考えます。  
 物的条件の整備については、  
 長洲小学校の改築をはじめとし

いつも子どもと一緒に

全国こども会指導者表彰の  
 菊川泰淵さん  
 (大明神)



明日に生きる日本の子どもた  
 ちの健全育成に尽された人々が  
 このほど全国表彰を受けたが、  
 本町の子ども会活動に長年尽力  
 されている子育て連会長の菊川泰  
 淵さん(清正寺住職)もその中  
 の一人である。菊川さんは「こ  
 の表彰は私自身に対してでなく  
 本町指導者みんなのものだ」と  
 しきりに強調された。  
 「子ども会加入会員は」  
 「四十二支部、二千名位です」  
 「いままでの活動内容と今後の  
 方針は」  
 「連合会発足当時は組織の充実

から走り回りました。一息つい  
 てリーダーの養成にかかりまし  
 た。現在、活躍しているリーダ  
 ーもたくさんいます。今後は安  
 全教育(特に交通安全)、道徳  
 教育に力を入れたいですね。子  
 どもの遊びの場の確保もなん  
 か……」  
 「町の姿勢に望むことは」  
 「社会教育を強力に押し進めて  
 欲しい」  
 「今の世相に感じられることは」  
 「終戦後、耐乏生活を経て、物  
 質的には非常に恵まれた現在で  
 はありますが、精神面が豊かで

て、町財政の許す限りの努力が  
 払われておりますが、まだまだ  
 一層の努力を継続せねばならな  
 いと考えます。  
 「教育は人なり。」どなたも  
 異論のないことだと思います。  
 教育をするのは、生徒児童の  
 教育では教師であり父母であり  
 大人達であり、社会教育では関  
 係職員や町の有識者や有志の方

町政懇談会  
 八月に実施の予定

住民アンケートは語る ③



々でありますから、教育関係者  
 は不断の研さんによって指導力  
 を培い、教養を高め教育愛を燃や  
 すべきであり、町民全部が教育  
 に深い関心を寄せていただき、  
 教育委員会は識者有志の声に耳  
 を傾けて、町民の大方の意向を  
 汲んで教育行政に反映させるこ  
 とを忘れてはならないと考えま  
 す。

広報がなすは大体八十九  
 %の人が読まれております。  
 町議会の報告、施政方針、各  
 課の行事お知らせ、街の話題、  
 特ダネ的な人など紹介しており  
 ますが、広報は町当局とみなさ  
 んを結ぶパイプです。乳幼児の  
 検診、予防注射などは見忘れて  
 実施しないと大変なことになる  
 ことがあります。毎月上旬、中  
 旬に発行される広報がなすが  
 は是非読んで下さい。  
 「町民の声を町政に反映させ  
 るには何が一番だと思います  
 か」の設問には「町政懇談会を  
 多く持つ」が三十八%を占めま  
 した。  
 昭和四十六年七月から九月に  
 かけて実施した町政懇談会では  
 一七四名の人が各部落の会場  
 に参加されて、町長を囲んで活  
 潑な意見交換がなされておりま  
 す。町政懇談会の結果を見ると

変わりつつある長洲町では教育  
 行政についても、すぐれた識見  
 や未来予測等が必要で、町ぐる  
 みで教育をやる姿勢が望ましい  
 のではないでしょうか。  
 このような意味で、町の教育  
 の充実発展のため町民の皆様  
 の御指導と御援助を切望致しまし  
 て就任の挨拶と致します。

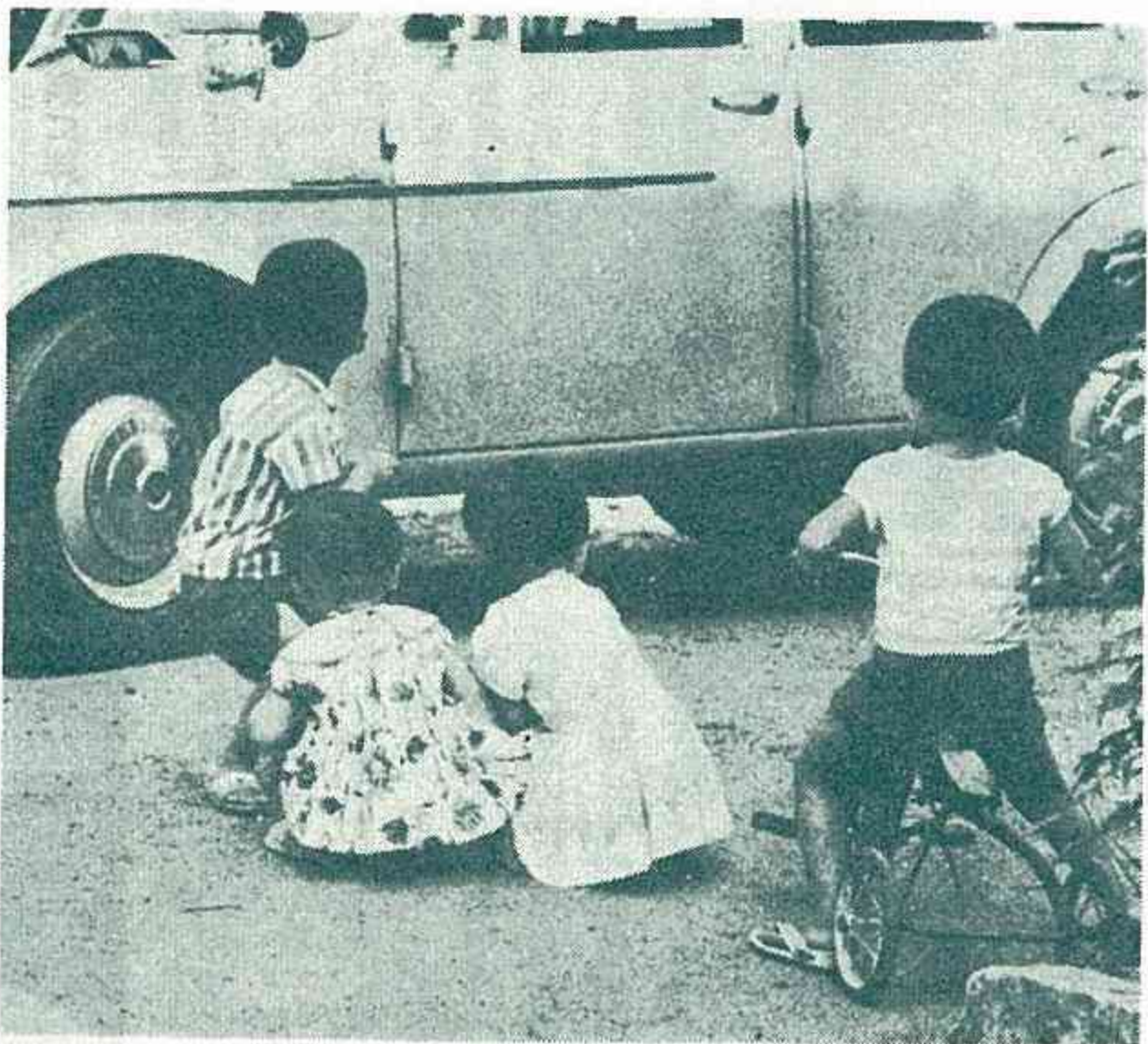
公署等の福祉関係及び道路改  
 良、舗装等の建設関係又、工場  
 進出に伴う雇傭問題等、種々様  
 々な事項がありました。  
 要求度の高い事項がこの二年  
 間でどのように処理されたか分  
 析してみました。先ず事業の要  
 望個所のうち、改良済又は継続  
 工事中のものをみれば、道路改  
 良では十九件のうち七件、三十  
 六、八%、舗装工事については  
 十三件のうち十一件、八十四、  
 六%、側溝、排水溝の整備は十  
 件のうち七件、七十%となつて  
 います。福祉関係からみれば、  
 公害企業の出出は認められない  
 という住民の強い態度で実現せ  
 ず、じん芥、し尿処理等環境衛  
 生問題が取り上げられ収集処理  
 の実現をみました。  
 今年は八月頃、町政懇談会を  
 催す予定で、住民の変わりゆく  
 考えを吸い上げ町政に反映させ  
 て行く意向であります。

ノーモア交通事故  
 アッ危い!! 四つの盲点

(この責任はそちらです)

もうすぐ新学期には入りま  
 す。町には新しい一年生があふ  
 れます。子どもの交通事故で  
 は、これら小学一年生が被害に  
 あうのが一番多いそうです。  
 子どもを交通事故のいたまし  
 い犠牲者にならないため、交通安  
 全について、ぜひもう一度注意  
 してあげてください。

「学校へは  
 はやめに  
 あわてずに  
 遅刻をしたくないのは、どの  
 子どもでも同じで、時間がない  
 とだれでも走りだします。  
 あわてて道路へとび出すと  
 アッ危い!! 自動車は急に止ま  
 りません」  
 「忘れものは  
 していませんか  
 さあ大へん、子どもの頭の中  
 は忘れものごとでいっぱい  
 です。横から走ってきた自動車が



車のそばであぶない遊び

道路で遊んでいることは、  
 ボール投げや、鬼ごっこに夢中  
 です。  
 アッ危い!! と叫んでもま  
 あいけません。  
 四 よく見よう!!  
 車のかけにまた車  
 どもたちは車のすぐ前や、  
 うしろを横切って道路へとび出  
 す悪いクセがあります。お母さ  
 んが買物に夢中になっているす  
 きに、子どもは自由行動を。  
 アッ危い!! と気がつくとき  
 は、もうおそいのデス。



# ながす再発見 (6)

## 二度と繰返すまい 寛政大津浪の惨事

長洲町の災害史をふり返って、一番大きな被害を受けたのは寛政四年（一七九二）四月一日の寛政の大津浪であろう。災害は忘れた頃にやってくるといわれるが、私たちは、ここで、もう一度当時のことを想起し、二度とこんな大災害にあわないように、その対策に努めなければならぬ。

寛政の大津浪の被害  
この大津浪により旧長洲町は全人口の約三分の一が死傷したといわれ、その供養塔が下東町に建てられ、後に、明治四十五

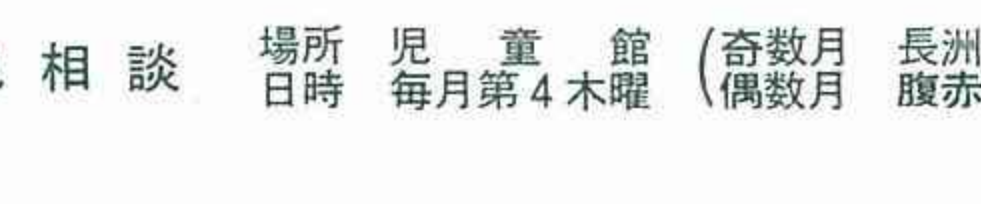
の記録によれば、寛政三年（一七九一）十月八日に起きた地震は、しだいに回数を増し、十一月十日頃には激震となり、翌年正月に入ると山がしきりに鳴動し、落雷のようになった。正月十八日の夜中十二時頃に大音響を発して大噴火を起し、二月九日には溶岩を噴出した。この光景を見た住民たちは、驚き不安におののいたという。

その後、小休止状態に入ったので、住民たちは安心し、逆に、噴火と溶岩を見物に出かける有様であった。附近には、にわか茶小屋が作られ、歌謡三弦が鳴るほどであった。藩も禁止令を出すほどに盛況であった。

しかし、それは嵐の前の静けさで、まったく知らぬが仏の農民たちであった。三月に入ると、今までとは違った大砲のような音が、山から海へ、海から山へと響きわたる。眉山がうなりだし、日に三百回も地震を数えるようになった。各地に一尺ほどの亀裂、断層ができた。

四月一日午後七時頃、ついに大爆発を起し、眉山の前半分が頂上より麓まで裂け、前の有明海に突入した。山からは山水が溢れ出し、海は津浪となった。城下島原町は全滅し、逃げまど

年五月下東町の福間春二氏が区民の協力によって新山墓地に移転建立したという。それを昭和十四年四月七日磯田大吉氏御夫妻の御尽力により、現在の古墳改葬の碑が建設され、新山墓地に建てられている。通称千人塚と呼ばれるものである。



古墳改葬の碑

町村名	流失	溺死	怪我人
上沖洲村	二〇〇軒	八〇〇人	三〇人
清源寺村	二〇〇軒	四〇〇人	四〇人
平原村	三〇軒	三〇人	—
長洲町	五〇軒	七〇〇人	一〇〇人

襲来図によれば、長洲町の被害は次のようになっている。  
大矢野島は死屍の漂着多く、村民奮ってこれを樽、桶に入れ裸体のものには古衣をおおい埋葬したという。  
寛政の大津浪の記念塔が各地に建てられたが、飽託郡小島町川口村、玉名郡鍋村、宇土郡網田村、長洲町の供養塔がそれである。

今は訪れる人も少ない新山墓地の古墳改葬之奥津城には、次のように記されている。  
(碑文)  
夫レ文化ハ天理ナリ、榮枯ハ地ノ常ナリト雖モ誰カコノ奥津城ヲ弔フノ時、転無情ノ感ニ堪エザラムヤ、今墓前ニ跪キテ此ノ碑ノ縁起ヲ案ズル一百五十年ノ往昔ノ時恰モ寛政四年ノ四月温泉岳崩壊ノ天災ニ会ヒ、アハレ海嘯襲来シテ無数ノ溺死者ヲ出セリ、時人哀ミテ長洲町下二丁目旧墓地一七九一第一番地ニ埋葬ス— (以下略)

一八二年前に起った大津浪のことは、今は殆んど町民から忘れられてしまったが、祖先の悲しい歴史の一つとして、この古墳改葬の碑を保存し、犠牲者の供養と、二度と惨事を繰返さないよう祈念したのである。

(林田 幸昌)

◎昭和四十八年恩給法の一部が改正され、昭和四十八年十月一日現在にて、満七十才以上の方（傷病者、及び妻、子を含む）は加算年も恩給金額の計算に算入されることになり、これら該当者は改定請求書を恩給局に提出せねばなりません。  
(旧軍人等の加算年の年額計算への算入)  
旧軍人、軍属等の加算年及び一般文官の職務加算年は、軍人恩給廃止前（昭和二十一年二月一日）には実在職年同様に恩給年額計算の基礎にも算入されていたが、昭和二十八年の軍人恩給復活時には、加算年は資格期間としては認め、恩給年額の面には認められなかったが、法改正によって、七十才以上の者、増加恩給受給者、特例傷病恩給を受ける七十才未満の妻子に給する扶助料については、実在職年と合して四十年に達するまで、すべての加算年または、加算年とみなされる割増在職年（抑留）を在職年同様に年額計算の基礎に算入されることになりました。

算、埋番地勤務、ソ連参戦加算、沖繩加算、二十年九月二日以降抑留加算、南西諸島の抑留加算、国境警備、戦地外勤務加算（支那事变の内国勤務、大東亜戦の内国勤務）、職務加算（航空搭乗、不健康業務、戦車搭乗、潜水監勤務）  
(一般文官の職務加算年の取扱いの改善)  
一般文官の職務加算年は、一般文官の恩給の基礎に在職年を計算する場合に算入されるが、旧軍人の恩給の基礎に在職年を計算する場合には算入されません。その必要な期間、手帳の交付が受けられる。  
三、戦傷病者手帳所持者には次の保護が受けられます。  
(イ)公務上の傷病について療養が必要な時は全額国庫で治療が受けられる。(ロ)恩給等の等級に応じて定められた枚数の国鉄無賃乗車券引換証が交付される。  
(ハ)所得税および地方税について所得控除の取扱いがなされ、又相続税についても税額が控除される。(ニ)一定の障害（二款症以上）がある者については、必要に応じ補装具が支給される。  
(ホ)第二款症以上の下肢、体幹の

算年数分の普通恩給が支給されることになりましたので、該当者の方は改定請求書を提出して下さい。  
二、戦傷病者手帳受給該当者  
(イ)傷病恩給、特別傷病恩給、傷害年金受給者、(ロ)第一目症又は第二目症の傷病賜金受給者、(ハ)軍人、準軍人であった人が傷病恩給を請求し棄却され、その傷病の程度が第一目症又は第二目症に相当すると認められる人、(ニ)戦傷病者手帳を受ける程度に達しなくても公務上の傷病について療養を必要とする場合は、

招魂祭に伴う名簿確認について  
毎年四月に恒例の招魂祭を遺族会世話人の方々の協力により、遺族名簿調整の上、執り行なっておりますが、案内もれの方又は、その後他市町村から転入され当町の招魂祭に参加希望の方を把握し、ご招待もれないようにしたいと思っておりますので、福祉課まで確認下さい。  
尚、今後長洲町から転出される遺族の方は、福祉課までお知らせ下さるよう、ご配慮願います。  
障害者が自動車（小型普通乗用）を購入する際の物品税が免除される。(一定の障害の区分や程度にあてはまる者について、自動車税、自動車取得税の減税がなされる。(ハ)第七項症以上の者について放送受信料の半額が免除される。  
◎戦没者等の遺族に対する特別弔慰金請求について  
昭和十六年十二月八日以後の公務上の死没者により、今まで公務扶助料、遺族年金等をもたらしていた遺族の方が、昭和四十七年三月三十一日までに死亡、婚姻等の原因で受給の権利を失なった場合は他の遺族の方が請求できます。  
以上のお問い合わせは役場福祉課までお願い下さい。

広聴室より  
皆様の苦情、相談とは役場の広聴室へおい下さい。  
行政だけでなく、みなさん達が毎日、直面している消費生活についても結構です。広聴室で判らないことがらについては、それぞれ専門の職員が応対することになっておりますから、御遠慮なくおい下さい。尚、二ヶ月分の相談件数は次の通りです。  
セメントあつ旋 七件  
土木関係 六件  
福祉関係 三件  
交通安全関係 九件  
法律相談 四件  
課税相談 三件  
その他 八件  
合計 四〇件  
(農振異議申立て等)

交通事故にあつたら 先ず広聴室へ  
(交通災害共済)



# ☆清源寺句会 (二月例会)

老二人静かに祝う屠蘇の味  
 遠く来し道無駄ならず梅林  
 倅せを数の子に添へ嫁送る  
 日向ぼこする吾に雲のかげり哉  
 なたらかな丘に日だまり春近し  
 村上山トミエ

茂村 清郷  
 浜田 焜雁  
 茂村 烈  
 田頭 絹子  
 村上山トミエ

終日雪路上人影見へず暮れ  
 釣銭をまちがゆる夢風邪に臥す  
 旅予定指折り算へ春を待つ  
 茶柱が立ちて梅の香漂へり  
 壺の梅膏のままに五日立つ  
 馬場 ワサ  
 九十九かよ子  
 浜田やす子  
 竹本 文字  
 木山 一代

## 医療費値上げの主な内容 (単位は円)

	甲表 (おもに 国公立病院)		乙表 (おもに開 業医、私立病院)	
	改定 据え置き	案 現 行	改定 据え置き	案 現 行
初診療		600		500
時間外加算	300	20	300	30
深夜加算	1,500	680	1,500	600
休日加算 (新設)	1,000	(時間外) (時扱)	1,000	(時間外) (時扱)
再診料	320	170	150	50
内科再診加算	—	—	130	80
時間外加算	300	20	300	30
深夜加算	1,500	680	1,500	600
休日加算 (新設)	1,000	(時間外) (時扱)	1,000	(時間外) (時扱)
慢性疾患指導料	300	260	300	260

## 新刊書紹介



中央公民館  
 図書

どこからかきた少女、最長不倒距離、あらしの前、人形の家、嵐をゆく勝海舟、野菊の墓、いばら姫、風の又三郎、東大寺、さすらいの孤児ラスムス、わらしべ長者、犬と五人の子どもたち、男性改造法秘伝、坂の上の雲、美容全科、おれの血は他人の血、女性の表現、駿河御前試合、二十一年の中国、黄色い風土、精神分析殺人事件、純愛記、肥後の民話、アーサー王物語、物価高モノ不足時代の生活

## 香典返し 寄付お礼

術、青嵐会からの直言、世界文学全集、ミニ周遊券とお寺の宿、国際人へのパスポート、三銃士、古事記物語、雪舞、王朝物語集、買占め商社、ぶえるとり日記、零からの栄光、Dの復合、著者近影様、大いなる海へ、樹影、黒水仙の夫人、人間滅亡の記録、どっこいシヨ、あ

次のかたがたから香典返しの意味で多額の御寄付を社会福祉協議会へいただきました。ここに厚く御礼申しあげますとともに故人のご冥福をお祈りします。

(寄付者) (物故者) (住所)  
 今崎 カネ 亡時太郎 上宝

### ◎高野豆腐

上手にもどすと一、五倍のかさになります。高野豆腐を主にした煮物で一人一枚あて、他の

### 経済的でおいしい乾物の扱い方

材料に加えるときは四人分一枚でよい。もどす時は底の平らな器に入れ熱湯をたっぷり注いで一〇分おき、たっぷり水をは

一口ちしき

るアメリカの死、徳川の夫人たち、いけばな人間、勝海舟と維新の旅、小学生の日本文学全集、こころの故里、戦艦ティルピッツを撃沈せよ、誰でもつくれるお菓子二〇〇選、中華風おかず、彩霧、がんばれ日本の男たち、にっぽん退屈党、青春の門、成長の限界

## 日曜当番医

- 第1日曜日 池本医院 (上東)
- 第2日曜日 永原医院 (清源寺)
- 第3日曜日 黒田医院 (駅通り)
- 第3日曜日 島田医院 (上沖洲)
- 第4日曜日 渡辺医院 (下今)
- 第4日曜日 西岡医院 (清源寺)
- 第5日曜日 浦島医院 (出町)
- 第5日曜日 西岡医院 (清源寺)
- 田宮医院 (上東)
- 用木医院 (上今)